

わが社の防火

医療法人宝持会池田病院

ごあいさつ

医療法人宝持会池田病院は昭和58年4月に宝持という地に開設いたしました。

現在、一般病床139床、療養病床60床(総病床数199床)のケアミックスの中規模医療機関として地域に根ざしています。

私たちは、病院理念にある患者様の必要と要望に対して誠心誠意応えべく、「医は仁」を原点に地域に密着した医療を目指し今日まで頑張ってきました。

今回、地域保全推進功労賞を頂戴し、「わが社の防火」にて当院で取り組んでいる災害対策を掲載して頂けることを心より感謝申し上げます。



池田秀一理事長

当院での災害対策

2019年11月23日20時頃、当院西側に隣接する長屋3件が全焼する大きな火災が発生しました。当院西館4・5階病棟へ火柱が当たり、たくさん煙が流入し、すごく恐ろしい光景であったことを今でも思い出されます。



災害対策委員会メンバー

当時、夜間であった為に少数の看護スタッフで病棟患者様を別の棟に避難させることが必要となりました。詳細なマニュアルがなかった為、大変混乱した状態での避難となりました。

その時の状況を振り返った際に看護スタッフより、実際に災害が発生した時の行動がスムーズにいかず、搬送や連絡に手間取ったことを聞きました。そのことを教訓として当院は2020年6月より各部署参加による多職種から構成される、「災害対策委員会」を設置いたしました。



目的は「災害時に落ち着いて的確な行動をとる」この1つです。

2か月に一度のペースで委員会を開催し、基本となる災害マニュアルの作成や、職員への初期消火訓練、発電機使用訓練、他にも院内研修会等を積極的に進め、3年目が経ちました。

今後も東大阪地域において、民間病院の特色を生かし基幹病院としての役割をはたし、また災害発生時にも臨機応変に対応できる病院を目指し取り組んで参ります。

